

放課後子ども教室訪問 田村市 広瀬めだかの学校

◎訪問日：平成26年10月10日（金）

◎活動場所：田村市立広瀬小学校 会議室・体育館・校庭

広瀬めだかの学校は、全校児童48名を対象とし、子どもたちの自主性を尊重し、自由活動を中心にした放課後子ども教室で、登校日の学習活動終了後から、集団下校までの午後4時10分までの時間で実施されます。

毎回の活動では、特に定められたプログラムはなく活動拠点になっている会議室や体育館、校庭等で楽しく友達と過ごしました。

午後3時を過ぎたあたりから、子どもたちが会議室にやってきました。

廊下にきちんと自分の荷物を並べ、会議室に入ると、まず、名簿に出席の〇印をつけました。その後、体育館や校庭でバドミントンやボール遊び、ハンドベースボールを仲良く行っていました。安全管理員と一緒に遊んだり、見守ったりしているので、思いっきり走り回っても、ぶつかることなく、安全に楽しむことができていました。

広瀬めだかの学校では、コーディネーターの先崎毅さんが平成17年から関わっており、また、安全管理員の5人中4人が保護者ということもあって、終始和やかな、安心できる環境の中での活動でした。

コーディネーターの話では、子どもたちは、自分たちが活動で使った用具はきちんと責任を持って片付けているし、町で会ってもしっかりと挨拶できる素直さがあるとのことでした。

学校側からは、「放課後の自由遊びが子どもたちの体力向上につながっており、陸上競技などでは、成績の向上がみられる。」という感謝の言葉があったとのことでした。

今後、雨天時の活動幅を広げ、雨の日の遊びに選択肢を多くつくる事で、安全・安心に活動できる工夫をしていきたいとのことでした。

